

湯沢CS通信

令和8年1月8日 第89号
(発行) 湯沢市教育委員会
学校教育課 CS担当

昨年十二月末まで、湯沢市の全ての小中学校で第三回学校運営協議会が開催されました。委員の皆様には、ご多用の中ご出席いただきまして、ありがとうございます。

さて、89号では、提出していただいた会の記録をもとに、三校の実践について紹介します。

山田小学校 山田中学校

「小中が連携した地域に根ざしたキャリア教育」 地域交流部

『聴いて！聴かせて！トークフォーカダンス in 山田』

十一月四日（火）、山田中学校体育館で開催

参加者 小学生二十八名、中学生二十四名、大人六十名

トークテーマ（十四題）

- ・好きな給食のメニューは？
- ・生まれ変わったら何になりたい？
- ・宝くじで百万円が当たったら何をしたい？ など

記録から

- ・参加者の人選はスムーズに行われた。
- ・トークテーマがバラエティに富み、会話が弾んだ。
- ・児童生徒にとっても、地域とつながるよい経験となった。
- ・中学生に主体性をもたせる工夫ができた。
- ・今後もこの事業を継続していきたい。



防災教育部

『小中合同防災訓練』

十月三日（金）、山田小学校で開催

参加者 小学生八十二名、中学生二十六名

指導者 消防職員六名、防災士六名

記録から

- ・児童生徒は楽しく学ぶことができた。
- ・新聞紙を使ったスリッパづくりが好評だった。
- ・委員の中に防災士がいて、コーディネートしていただき、ありがたかった。
- ・小学生に心肺蘇生法、AEDの使い方方を体験させたい。
- ・保護者や地域の方も巻き込んで実施できればよい。

ブランディング部

『YAMASHOカンパニーとYAMACHUコーポレーションによるコラボ商品の開発』

商品 山田バーガー、豚汁

十月十八日（土）、山中祭で限定試食実施

記録から

- ・商品化まで改良を重ね、商品を提供することができた。
- ・内容が充実していて、見通しをもって活動できた。
- ・専門家の意見や保護者、地域のサポートのおかげで商品化を実現できた。
- ・今後、この事業について、小学校がどのように引き継ぐかを考えていきたい。



雄勝中学校

防災プロジェクト

『防災教室』

十月二日（木）、玄関前、家庭科室、多目的ホールで開催

訓練内容

- ・地震体験（地震体験車の活用）
 - ・避難訓練（地域の自主防災組織の皆さんと一緒に避難）
 - ・救命講習（心肺蘇生法、応急的担架の作成）
 - ・炊き出し訓練（非常食づくり、日赤奉仕団雄勝分団の指導）
- 記録から

- ・地域住民の参加を得ながら、生徒が真剣に取り組み、一体感のある活動となった。
- ・来年度は「災害時に自分は何ができるのか」という視点に今一度立って実施していきたい。

コミュニティプロジェクト

『放置柿の商品化』

十月二十四日（金）、プロジェクトについての説明

目的…熊の出没を誘発する放置された柿を収穫し、商品化することで、地域の課題解決に貢献する。

十月二十九日（水）、放置柿の収穫中止…熊出沒による屋外活動禁止による。

十一月五日（水）、加工作業（柿のドライフルーツ化）



記録から

- ・柿の収穫は来年度も難しい可能性がある。生徒が関わる場面が全ての活動でなくてもよい。
- ・作業順を変え、加工後、すぐにパッケージする。乾燥剤の使用と真空パック化も可能である。

発信プロジェクト

『ふるさと雄勝の魅力を発見・発信』

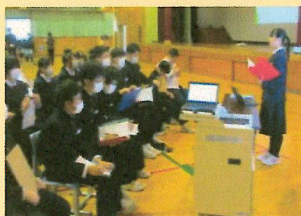
十二月十九日（金）、「総合的な学習の時間」全校発表会を体育館で開催

内容

- ・発信プロジェクトの委員から、工夫を凝らしたプレゼンテーションや適切な質疑応答ができるようにアドバイスする。
- ・各学年の代表者、計十二名がまとめを発表する。

記録から

- ・プレゼンテーション力を高めるアドバイスを行いたい。
- ・十二月二十四日（水）、市役所での発表をブラッシュアップさせたい。
- ※十二月二十四日、生徒の発表だけでなく、商品化したピザも販売しました。



三校では、学校運営協議会委員が各部門（プロジェクトチーム）に分かれて活動しました。委員の皆様には学校や地域の課題解決に向けて取り組んでいただき、ありがとうございました。